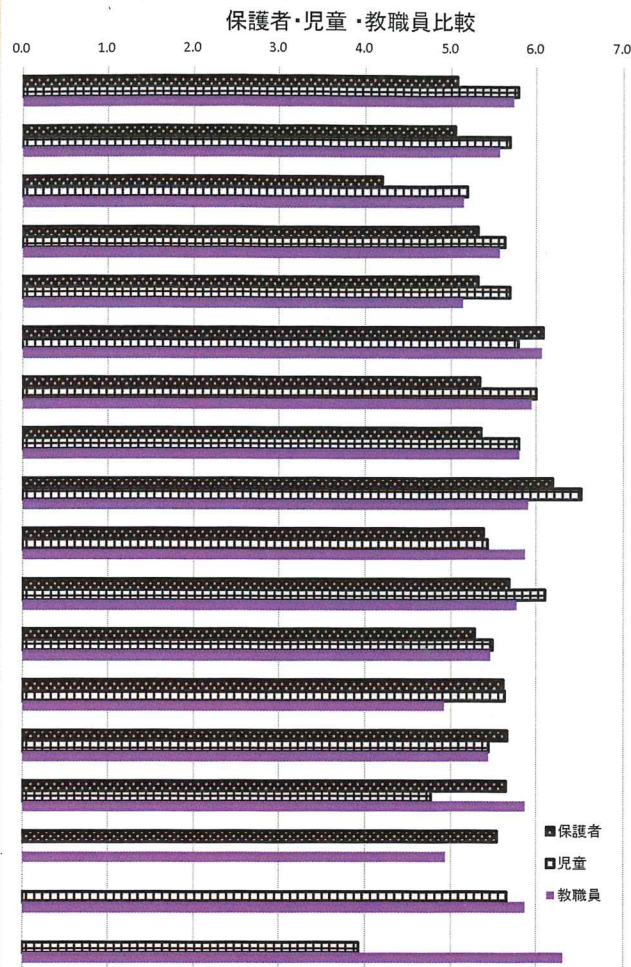




保護者・児童・教職員 回答 比較

		児童	保護者	教職員	
1	学	めあてをもってすすんで学習に取り組んでいる。	5.1	5.8	5.7
2	学	すすんで家庭学習に取り組んでいる。	5.0	5.7	5.6
3	学	すすんで読書をしている。	4.2	5.2	5.1
4	学	授業や家庭学習で、基礎学力が身につけてきている。	5.3	5.6	5.6
5	学	授業や家庭で対話をする力が身につけてきている。	5.3	5.7	5.1
6	心	毎日楽しく学校に通っている。	6.1	5.8	6.1
7	心	すすんで挨拶をしている。	5.3	6.0	5.9
8	心	いろいろなことにチャレンジしようとしている。	5.4	5.8	5.8
9	心	友だちを大切にしている。	6.2	6.5	5.9
10	心	自分のよいところや得意なことを言える。	5.4	5.4	5.9
11	心	学校や家庭、交通のルールを守っている。	5.7	6.1	5.8
12	体	好き嫌いせず、バランスよく食事をしている。	5.3	5.5	5.5
13	体	外遊びなど、すすんで運動をしている。	5.6	5.6	4.9
14	体	早ね・早起き・朝ごはんをしっかり食べる等、規則正しい生活をしている。	5.7	5.4	5.4
15	開	気になることがあれば、学年担任や学校に気軽に相談できる。	5.6	4.8	5.9
16	開	学校からのおたよりやホームページで、学校の様子がよくわかる。	5.5	／	4.9
17	開	あじなす目標を意識して行動している。	／		5.7
18	開	学校のいじめ対策委員会のメンバーを知っている。		／	3.9



13. 外遊びなど、すすんで運動をしている。

15. 気になることがあれば、学年担任や学校に気軽に相談できる。

18. 学校のいじめ対策委員会のメンバーを知っている。

【資料の中の数値について】
よくできている ... 「7」
だいたいできている ... 「5」
あまりできていない ... 「3」
できていない ... 「1」
回答人数をかけた総計を回答者数で割り、平均を出しています。
「4」が中間値となり、「5」を超えていると概ねできていると判断してよいと考えています。

児童・保護者の肯定的な回答が高かった一方で、教職員の回答はやや低い結果となりました。放課後には地域の公園などで友達と遊び、元気に体を動かす子ども達の姿も多く見られ、このような日常の過ごし方も今回の結果につながっていると考えられます。
また、本校では、地域の皆様に支えていただいている部活動も充実しており、子ども達が運動に親しむ機会に恵まれています。日頃から子ども達の活動を支えてくださっている地域の皆様へ、改めて感謝申し上げます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

「学校のいじめ対策委員会のメンバーを知っている」の項目では、児童の肯定的な回答が低い結果となりました。委員会の役割やメンバーについて、十分に周知できていなかったことが一因と考えています。また、「気になることがあれば学年担任や学校に気軽に相談できる」の項目についても、児童の肯定的な回答が低い結果となりました。本校では、いじめアンケート実施後に、担任が全児童を対象とした個別の教育相談を行っています。その中で、「特に相談することがない」と話す姿も見られました。一方で、相談したいことがあっても相談しにくいと感じている児童もいると考え、今回の結果を大切に受け止めています。
本校のいじめ対策委員会は、校長・教頭・教務主任・養護教諭・生徒指導主任をはじめ、複数の教職員で構成しています。いじめをはじめ、子ども達が抱える様々な困りについて、担任だけでなく、学校全体で情報を共有し、組織的に対応しています。
自由記述では、いじめへの確実な対応を求め「意見をいただく一方で、不登校への対応について「チームで対応してもらっていることが伝わり、ありがたい」とのお声もいただきました。今後、一人一人の子ども達の様子を丁寧に捉え、いじめ対策委員会についても児童への周知を図り、「困った時には誰に相談してもよい」と感じられる学校づくりに努めてまいります。

3. すずんで読書をしている。

この項目では、毎回、児童・教職員と比べ、保護者の肯定的な回答が低い結果となっています。学校では読書に親しんでいるものの、家庭では読書に十分つながっていない児童がいることが考えられます。
本校では、年2回の「読書週間」を設け、朝読書をはじめ、図書委員会による取組や教職員による読み聞かせなど、子ども達が本を身近に感じられるよう工夫しています。
また、毎週水曜日の朝帯時間には、学年ごとに図書ボランティアの皆様による読み聞かせを、年2回夏休み前と冬休み前には、放課後に特別な読み聞かせ会を行っていただいています。継続して子ども達に本の楽しさを届けてくださっていることに、心より感謝申し上げます。
今後も、学校で本に親しむ機会を大切にするとともに、読書週間などを通して家庭での読書も呼びかけ、学校と家庭がともに子ども達の読書への興味・関心を育てていけるように取り組んでまいります。



7月9日の夏の読み聞かせ会

1. めあてをもってすすんで学習に取り組んでいる。

2. すずんで家庭学習に取り組んでいる。

この2項目についても、読書と同様に、保護者の肯定的な回答が児童・教職員と比べて低い結果となりました。この結果を受け、子ども達が自ら目標や見通しをもち、主体的に学習に取り組む力をさらに育てていく必要があると考えています。
夏季休業中には、洛北中学校ブロックの小・中学校の教職員が一堂に会し、「互いを認め合い、すすんで学び続ける児童生徒の育成」を目標に、小・中学校9年間を見通した合同研修を行いました。授業づくりや家庭学習・自主学習などについて、各校の取組や課題を共有し、よりよい指導の在り方について話し合いました。
また、本校では今年度、家庭での学習習慣づくりや自主的な学びにつなげるため、家庭学習の進め方をまとめた「明徳版 自学自習のすすめ」を作成し、4月に配布しております。ぜひご家庭でも参考にさせていただき、子ども達への声かけや家庭学習にお役立てください。
今後も、家庭との連携を大切にしながら、小・中学校がともに学びの方向性を共有し、子ども達が自ら学ぼうとする力を育ててまいります。



8月21日の小中合同夏季研修会

16. 学校からのおたよりやホームページで学校の様子がよくわかる。

学校からの情報発信については、保護者の皆様から高い評価をいただきました。自由記述でも、「すぐでるで学校だよりや学年だよりをカラーで見ることができて嬉しい」「子どもとの会話のきっかけとなり、学校の様子をイメージしやすくなった」といった声をいただいています。
また、宿泊を伴う行事では、離れて過ごす子ども達の様子を楽しみにしてくださっている声もいただきました。こうしたご意見を受け、その後の4年生の宿泊学習では、現地での様子をできるだけタイムリーにお伝えできるよう、更新を意識して行いました。
今後も「すぐでる」とホームページそれぞれのよさを生かしながら、学校での子ども達の様子や取組がより身近に伝わる、分かりやすくタイムリーな情報発信に努めてまいります。
※「すぐでる」に、欠席・遅刻以外の連絡事項を入力できる項目がほしいのご意見もいただきました。入力項目等はシステム上の仕様となっており、学校で変更することはできませんが、いただいたご意見として受け止めています。